

令和7年
2025年

6月17日
火曜日

第11734号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6か月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
☎101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
☎550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
☎812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



「味付ジンギスカンGP2025」が開催された……P3

▶ ～高まるブロイラー需要～、梅雨明け後ムネ引き合い強まり、生鮮モモの高値も続く …… P2

▶ 「味付ジンギスカンGP2025」、北海道樽前工房とHIT Corporationがグランプリに輝く …… P3

▶ 兵庫生衛組合が通常総会、新理事に辰己真一副理事長 …… P4

▶ 農畜産業振興機構、食肉販売動向調査④「牛肉卸売業者 輸入牛肉の取扱・販売価格見通し」…P4～5

▶ 柿安本店25年4月期連結決算、百貨店閉店による店舗減、原材料高も響き減収減益 …… P5

▶ 神戸大学セミナー開催、食肉産業の課題や脂肪交雑の「小ザシ」などを研究発表 …… P6

▶ ブラジルのゴイアス州で鳥フル、家禽肉などの輸入一時停止 …… P6

▶ [食肉流通C・食肉業界の販売動向]③米国の関税措置および和牛肉需要拡大対策と今後の見通し・ P7

▶ EUと英国、衛生植物検疫に関する新たな協定の締結で合意 …… P8

▶ [資料]日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉 …… P9

▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]16日 ……P10

▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]16日 ……P11

注目のヘッドライン

～高まるブロイラー需要～

梅雨明け後ムネ引き合い強まり、生鮮モモの高値も続く

…詳細はP2

「味付ジンギスカン GP 2025」
北海道樽前工房と HIT Corporation
がグランプリに輝く

…詳細はP3



Nipponham Group
たんぱく質を、もっと自由に。

食肉施設の設計・施工・コンサルタント

— 食肉業界をリードする —



〒110-0016 東京都台東区台東4-20-5
☎03-3834-1561(代) <https://hanaki-eng.co.jp/>

～高まるブロイラー需要～ 梅雨明け後ムネ引き合い強まり、生鮮モモの高値も続く

5月中旬から6月にかけて、例年になく暑さが厳しく、各地で真夏日が相次いだ。全国的に梅雨入りした6月13日の日経加重平均の東京相場をみてみたい。淡白な味わいで代表的な涼味商材の一つである国産生鮮ムネは引き合いが強まり、527円の高値となった。国産生鮮モモは季節なりに動きは鈍くなっているものの、やはり13日に827円と昨年6月の平均を200円以上も上回っている。生産コストの高止まりや、消費者の節約志向などが組み合わさっているものと考えられる。

日経加重平均の東京相場は4月1日付から調査対象を変更しており、旧7社から1社を対象から外し、新たに2社を加えた計8社としたことで、取引量も増え、相場も高額になったときいている。取引量の多い2社が加わったことも日経東京相場の高値につながったようだ。

さらには諸物価が高騰する中、量販店などで、消費者が比較的安価な鶏肉を選択する機会が増えたことは、スーパーマーケット団体などからも指摘されている。鶏肉の中でもモモ肉より安価なムネ肉は、特有のパサツキを解消した食べ方なども広まり、さらには高齢化の進む中、高タンパク低カロリーの食材としての人気も定着している。低価格でボリュームを打ち出せる商品として、手羽元なども量販店で引き合いが強まった(写真)

梅雨明けまでは、時折、ところによっては梅雨寒による鍋回帰などもみられたが、最も増える消費行動は「日持ちの良いものまとめ買い」で、生鮮の食肉、鮮魚などよりも、加工度の高いハム・ソーセージ、塩干魚、レトルト、缶詰などが伸びる時季ではある。

梅雨が明ければ本格的な夏到来で、モモの需要はさらに減少する。おおよそ820円を前後しながら、ジリアンでの展開が予測される。ムネ、ササミなどは涼味商材としての引き合いが一層強まり、学校給食需要のある7月中旬前後には生鮮ムネで550円を超える局面もあろう。

また、産地での生産状況をみると、春先から5月ぐらいまでみられた入すう時の寒波による増体不良なども6月に入って解決しており、外国人研修・実習



生の来日もスムーズになったことから、人員不足は少しずつ解消されているようだ。

輸入物は、モモ正肉でブラジル産がキロ455円前後、タイ産が470円前後の高値に張り付いていたが、ブラジル農業省が5月19日、リオグランデドスル州モンテネグロ市の養鶏場での高病原性鳥インフルエンザの発生を発表したことで、軟調に転じた。中国、EU、韓国などはブラジル全土からの鶏肉輸入について輸入を停止した一方で、日本はモンテネグロ市産のみ輸入停止とした。

日本国内の輸入鶏肉需要は、気温の高まりに伴い減少し、7月末から8月の初めにかけて、年間で最も落ち込む。中国、EUなどの主要輸出先への販路が一時的とはいえ閉ざされることで、世界市場的にはブラジル産鶏肉が行き場を失ったことに加え、日本国内は輸入鶏肉、とくにモモ正肉、から揚げ用のカット物などは比較的需要の薄い夏場でもあることで値を下げている。また、タイ産地の強気なオファーなども伝えられているが、これも日本国内の需要の問題から、大きな値上げには結びつかないようだ。

夏場全体で見ると、先述のように輸入物、国産生鮮モモとも需要が薄い傾向がみられるものの、夏の行楽や旧盆前後の帰省、また、まとまった休日で、調理時間が増えることなどから、コンビニエンス・ストア、ファストフードなどにおけるスナック需要や家でのから揚げなど、一時的に需要が回復する。とくにスナック需要については、インバウンドによるところも大きく、これまでをはるかにしのぐ訪日客などがあれば、場合によってはブラジル産、タイ産とも各部位でジリ高に転じる可能性もある。

「味付ジンギスカン GP 2025」 北海道樽前工房と HIT Corporation がグランプリに輝く

MLA(豪州食肉家畜生産者事業団)主催の「味付ジンギスカングランプリ2025」の表彰式が13日、東京都港区の豪州大使館で開催された。菊池一弘実行委員長(羊齧協会代表)、MLAのトラヴィス・ブラウン駐日代表、豪州ビクトリア州政府職員、量販店のバイヤーら専門家審査員による試食審査を実施。その後、「北海道ジンギスカンフェスティバル2025」の一般来場者(500人)、東京都内での一般枠(100人)による決選投票が行われた。4回目となる今回は、「市販品部門」41商品、「店舗メニュー部門」34商品、全75商品がエントリーされ、(株)北海道樽前工房の「厚切りジンギスカンプレミアム」、(株)HIT Corporation(HEY MEAT)の「厚切りマトン味付けジンギスカン」がそれぞれグランプリに輝いた。

表彰式冒頭、菊池実行委員長は、「審査を通して非常にレベルが高くなっていると感じた。好みの差ではないかというぐらいレベルが高く、多くの審査員を悩ませた。味付けジンギスカングランプリを始めた手応えと、業界の進化、そして味付けジンギスカンの未来を強く感じた。味もしょうゆベースに加え、塩やみそ、スパイス、レモン、ハーブなど、独創的な味付けも増えてきて、可能性も広がっている。家庭で手軽に調理できる利便性や冷凍保存によるフードロスの削減など、現代の食生活にマッチしている。味付ジンギスカンの魅力を全国、そして世界へ広げていけると思っている」と期待を示した。

表彰式では、グランプリを受賞した北海道樽前工房の田中雄滉営業部長が「この賞を励みに、もっとおいしいジンギスカンを提供できるよう精進していく。また、味付けジンギスカンの魅力をいろんな人に伝えていきたい」、HIT Corporationの日吉良一社長が「今回、豪州のラムやマトンのほか、北海道の食材を組み合わせ、豪州の魅力や可能性を感じながらつくった。今後もジンギスカンの普及に向けて、皆さんと取り組んでいきたい」と喜びを語った。閉会のあいさつはブラウンMLA駐日代表が勤め、「ジンギスカンという料理は、ラムの中で重要なポジションとなっている。北海道だけでなく、ほかのエリアでも伸ばしていきたいと思っている。ジンギスカンや味付けジンギス



カンは、若者に向けて発信するための非常に良いアイテムである。今後も味付ジンギスカングランプリに力を入れていきたい」と述べた。なお、そのほかの入賞者は次のとおり。

【市販品部門】(上写真) [準グランプリ] (有)管野精肉店「塩ラムジンギスカン」、(株)尾谷商店「特選尾谷のらむじん」 [オーギー・ラム賞] (株)佐久精肉店「SAK特上ジンギスカン(しょうゆ)」 [ジンギスカン応援隊長] (有)潤屋なんぼろジンギスカン「極厚ラム」 [ラムバサダー賞] (有)潤屋なんぼろジンギスカン「ラム肩ロース」 [クックパッド賞] (株)Sheep(岡山ジンギスカン結)「瀬戸内レモンの塩ジンギスカン」 [RiCE賞] (株)Hapir(北海道産羊・野菜ふくすけ)「特製厚切り味付きジンギスカン」

【店舗メニュー部門】(下写真) [準グランプリ] (株)大黒商事(旭川成吉思汗大黒屋)「大黒屋の味付けジンギスカン」 [ジンギスカン応援隊長賞] (株)HIT Corporation(北海道大雪ジンギスカン雪ノ下)「オリジナルジンギスカン」 [豪州ビクトリア州政府賞] MASAエンタープライズ(株)(ジンギスバルまーさん)「旨口ロースたれ」

兵庫生衛組合が通常総会、新理事に辰己真一副理事長

兵庫県食肉生活衛生同業組合(大西賢一理事長)は6月6日、神戸市長田区の神戸飯店で令和7年度通常総会を開催。上程議案のうち任期満了に伴う役員改選では、新たに辰己真一副理事長を理事長に選任した。

総会後の懇親会で辰己新理事長(上写真)は「これまで頑張っていたいただいた大西さんを見習い、大西さんに続いて取り組んでいきたい。阪神・淡路大震災、BSE問題、新型コロナウイルス感染症と、困ったときには、行政の皆さまのお力添え、ご指導のお陰でピンチを乗り越え、元気に商売をすることができている。辛いときもあるが、消費者の皆さま、生産者の皆さま、業界の皆さまなど、すべてのステークホルダーの皆さまに喜ばれる仕事をしていきたいと思う」と力強く述べた。

また、これまでの生衛組合への貢献として、大西氏と岸田伊佐男氏に感謝状を贈呈。加えて、大西氏(下写真左)が旭日双光章を受章されたことを発表。この栄誉に対し、神戸食肉青年会の岸本七江会長から、花束と記念品が渡された。

大西氏は「20数年間、組合の理事として務めた。いろいろなことがあったが『楽しかったな』という思いでいっぱい。とくに思い出に残っているのが全国大会を神戸ポートピアホテルで行ったこと。皆さまの力で立派な大会となり、全国に兵庫の力をみせつけることができた」とし、辰己新理事長にエールを送るととも



に、受章に関し、関係者に謝辞を述べた。

懇親会には行政から、加田裕之・参議院議員、高橋光男・参議院議員、盛山正仁・前衆議院議員、奥谷謙一・兵庫県議会議員、天野和幸・兵庫県保健医療部生活衛生課長、木村知紀・神戸市健康部生活衛生担当部長といった関係者が駆けつけ、来賓あいさつを行った。業界からの参加者も合わせて70人程度が参加した。

農畜産業振興機構、食肉販売動向調査④ 「牛肉卸売業者 輸入牛肉の取扱・販売価格見通し」

今後1年間の卸売業者における輸入牛肉の取扱見通し(重量ベース)について、「輸入牛肉全体」「米国産」「カナダ産」「豪州産」「ニュージーランド産」「メキシコ産」「その他」の産地別に動向を尋ねた。

輸入牛肉全体では「同程度」と「減少」が42・9%で同率となった。国別にみると、ニュージーランド産とカナダ産を除いて「同程度」が最も多い中、米国産は「減少」が「増加」を上回り、豪州産とメキシコ産

は「増加」と「減少」が同率、カナダ産は「同程度」と「減少」が同率であった。なお、ニュージーランド産は「減少」が最も多かった(それぞれ「予定なし」を除く)。「減少」の理由としては、米国産は「相場高」および「外食向け需要の減少」が最も多く、カナダ、豪州、ニュージーランド産は「相場高」が最も多かった。

今後1年間の卸売業者における輸入牛肉の販売価格見通しについては、輸入牛肉全体では「値上げ

する」が71・4%と最も多く、前期から21・4ポイント上昇した。

国別にみると、その他を除いて「値上げする」が6

～7割程度を占めた。値上げの理由としては、すべての区分において「相場高」などが挙げられた。

柿安本店 25年4月期連結決算 百貨店閉店による店舗減、原材料高も響き減収減益

柿安本店(赤塚保正社長=写真)は10日に2025年4月期の連結決算を発表し、16日にメディア向け説明会を東京都中央区の日本証券アナリスト協会で開催した。決算短信によると売上高は361億400万円(前期比2・6%減)、営業利益は15億円(31・8%減)、経常利益は15億3800万円(31・1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は7億100万円だった。セグメント別には次の通り。

〔精肉事業〕25年2月9日には年に1度の肉の日として、限定の「感謝袋」を販売するとともに、WEB予約システム「ニクヨヤク」では、予約限定商品として松阪牛と黒毛和牛の食べ比べセットを展開した。また、4月には人気の牛タンを加えた「焼肉セット」を販売するなど、お客の需要を捉えた商品展開に努めた。出退店については、「ラスカ平塚精肉店」など2店を出店し、1店の退店を行った。この結果、同事業の売上高は138億900万円(2・4%減)、セグメント利益は7億7700万円(36・4%減)となった。

〔総菜事業〕「海老とスティックブロッコリーの湯葉あんかけ」や「あざりと5種野菜のペペロンチーノ風サラダ」などの季節限定商品を展開した。また、人気商品を集めた「バレンタインオールスター弁当」「春のオールスター弁当」や高級食材をぜいたくに掛け合わせた「黒毛和牛牛めし&うなぎ弁当」を提供するなど、満足度の高い商品の展開を図った。出退店については、3店を出店し、1店の退店を行った。この結果、同事業の売上高は128億1700万円(2・9%減)、セグメント利益は11億7200万円(1・5%減)となった。

〔和菓子事業〕新たな試みとして、いちごを用いた商品を販売するなど、今後につながる商品展開を実施したほか、従来は和菓子業態であったイオンモール四條畷店を、総菜や弁当も提供する新業態としてオープンした。出退店については、5店を出店し、8店の退店を行った。この結果、同事業の売上高は66億



3400万円(0・7%増)、セグメント利益は3億8900万円(14・2%減)となった。

〔レストラン事業〕25年4月に料亭業態の「柿安銀座店」を全面改装した。四季をテーマとしたこだわりの個室を用意し、松阪牛を中心とした最高級食材を、熟練の料理人が匠の技術で料理を提供しており、他では体験できない貴重な時間と空間が味わえる店となっている。また、「上海柿安ららぼーとTOKYO-BAY店」や「グリル&カレーカキヤスEXPASA御在所店」をリニューアルオープンするなど、改装による店舗の活性化・集客向上を図った。出退店については、1店の退店を行った。この結果、同事業の売上高は13億4500万円(9・9%減)、セグメント損失は100万円(前連結会計年度は6100万円のセグメント利益)となった。

〔食品事業〕新商品の高級レトルトカレー「KAKIYASUPREMIUM」シリーズから「厚切り牛タンカレー」を販売した。また新たな試みとして「減塩牛肉しぐれ」「すき焼」などの「柿安瓶詰めシリーズ」を8種類同時に期間限定発売するなど、さらなる販路拡大に努めた。この結果、同事業の売上高は14億9400万円(7・6%減)、セグメント利益は1億4300万円(20・3%減)となった。

神戸大学セミナー開催 食肉産業の課題や脂肪交雑の「小ザシ」などを研究発表

令和7年度JRA助成事業「食肉産業を支える鮮度保持技術の開発事業特別セミナー」が14日、神戸大学およびオンラインで行われた。主催は「黒毛和牛の魅力創出技術研究会」、共催が神戸大学大学院農学研究科。

開催に当たり神戸大学大学院農学研究科長の白井康仁教授が「神戸ビーフを含む日本の食肉文化・食文化は世界に誇れるもの。しかし畜産業界を支える少子化問題や飼料高騰、温暖化、さまざまな問題が未来に積み上げられている。そうした問題をわれわれ皆で解決していく必要がある。将来的に持続可能な畜産業・農産業が可能となることを願う」とあいさつ。

内容は次の4講演①「日本の食肉産業が抱える課題と未来への展望」神戸大学大学院農学研究科・本田和久教授②「シミュレーションから見る日本の社会課題とその展望」神戸大学大学院工学研究科・織田澤利守教授③「獣医師の視点から考える、日本の畜産の課題と可能性」兵庫県農業共済組合家畜部・是枝明博課長④「国産食肉のおいしさの秘密を科学で探る」(独)家畜改良センター企画調整部・松本和典課長――。

①では、畜産における今後の深刻な課題として、地球温暖化対策、スマート農業の導入、アニマルウェルフェアに関する法規制の導入、鳥インフルエンザや豚熱といった防疫対策、耕畜連携による堆肥の有効活用について説明。課題対策として、とうもろこしを飼料用米や酒かすに切り替えた肉用鶏の飼養、再生二期作による飼料用米生産、国産種鶏の造成などを紹介した。



②では、多様な災害シナリオの下で、都市丸ごとのシミュレーションを実行する技術開発を進めていることを紹介。③では、大規模集約による効率的な畜産生産が進んだ結果、密飼いになることで病気になりやすくなっているとし、獣医療の将来においては、どの獣医師が診断してもちゃんと病気の見極めができること、病気をしない牛作り(予防医療)や早期発見への意識情勢、担い手不足の中で獣医師の養成――が必要であるとした。

④では、同じBMSナンバーでも、粗い脂肪交雑と細かい脂肪交雑では、粗脂肪含量が30%も違うとし、高BMSでも粗脂肪含量が少ない「小ザシ」評価の研究を進めているとした。また、和牛に含まれる「オレイン酸」について、融点が低いことから舌触りが良く、口溶けが良いとし、オレイン酸の風味や香気の良さもあって、オレイン酸が多いことがおいしさにつながるとした。

そのほか食肉に関するポスター展示や、スキンパック包装肉の紹介、また今回は兵庫県畜産フェアも同時開催しており、神戸ビーフの焼き肉や卵、ヨーグルトの試食も行われた。

ブラジルのゴイアス州で鳥フル、家禽肉などの輸入一時停止

農水省動物検疫所は14日、ブラジルの家禽飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことを受けて、次の地域から輸出される生きた家禽、家禽肉等の輸入を一時停止した。

生きた家禽の輸入一時停止対象地域＝ゴイアス州全域、家禽肉等の輸入一時停止対象地域＝ゴイアス州サント・アントニオ・ダ・バーハ市

[食肉流通C・食肉業界の販売動向]

③米国の関税措置および和牛肉需要拡大対策と今後の見通し

1・米国の関税措置および和牛肉需要拡大対策

ことし4月に米国が発表した関税(いわゆるトランプ関税)は、日本の産業界に大きな影響を与えることが危惧されている。食肉については、牛肉輸出などの直接的にかかる関税の影響だけではなく、国際貿易や国内経済への影響も食肉需給に大きく関る。現在、食肉業界では、日米間交渉の行方についての情報の収集と分析をしていくということが基本姿勢のようだが、一部では牛肉輸出を早めたり、輸出先の多角化を検討したりするなどの動きもみられる。

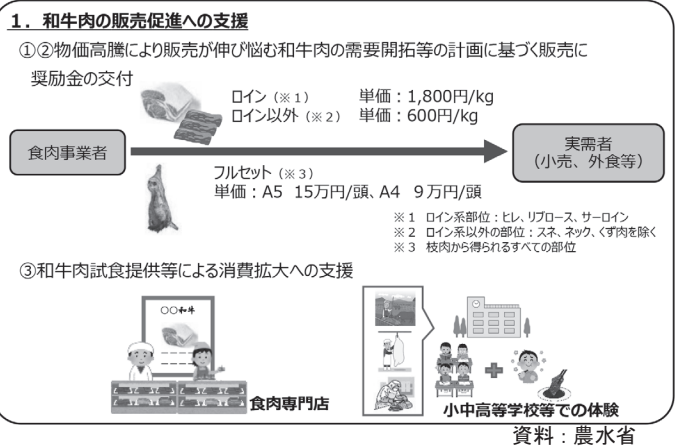
農水省は、令和6年度補正予算で予算額170億円と規模の大きな和牛肉需要拡大緊急対策事業(図)を措置し、業界では和牛の国内需要の停滞を改善するものと期待されている。聞き取りした多くの業者でも事業を活用しており、その効果として得意先との商談が進めやすい、新規の得意先が獲得できた、和牛相場の下支えとなっているなどの報告があった。

〈食肉事業者の主な声〉トランプ関税の先行きが不透明であり、業界では、米国への和牛肉出荷を早める会社と模様眺めの会社に分かれているようだ。当社では、米国は主要な輸出先であるが、EU向け輸出の強化を検討している▷米国関税の目に見える影響は感じられないが、米国・中国間の関税問題で米国産フローズン・ショートプレートが中国が買わなくなるのではないかとこの憶測が飛んでいて、国内での取引価格が下がってきているようだ▷農水省の和牛肉需要拡大対策により得意先との商談が円滑に進み、新規顧客も出てきている。和牛肉の需要が拡大し、和牛枝肉相場の浮上効果がある▷和牛肉需要拡大対策を活用している。昨年まではリブロースの販売に苦労したが、量販店との商談が進んで動くようになった。サーロインも関西を中心とした外食チェーンからの大口受注があり、社内で和牛の余剰部位はなく、不足状態である▷当社では、和牛肉需要拡大対策のパーツ奨励金を活用して和牛の動きがよくなっているが、仕入値も上昇している。フルセットの奨励金にも取り組みたいが、得意先からはフルセットはさばき切れないといわれている。

2・食肉事業者の今後の見通しと対応

GW以降の食肉の販売状況では、動きが一時停滞状況にあるとの報告が多くあった。聞き取りでは、今後の食肉販売の見通しと対応についても尋ねている。ここでは特徴のある報告について掲載する。

〈食肉事業者の主な声〉国産牛肉の価格高の対応として、脂肪等整形の加工度を低く(歩留まり率を高く)して納品単価を抑える提案をし、インスタ加工の得意先から一定の評価を得ている。加工度が低いため、得意先では、加工時の端材や脂肪をひき肉の原料に組み合わせるなどの工夫が必要となるが、食品ロスも減り、双方にとってよい提案となっている(大手食肉加工メーカー)▷最近では、納入価格を抑えるような量販店側のルールは通用しなくなっており、われわれ卸業者も納入価格について主張するようになってきた。ただ、地域差があり、地方ではまだ以前のままだ▷今年も暑い夏が長く続くと、和牛のロインとヒレの動きは読めなくなる。動きが鈍くなった場合は、ロインはできる限り販促をかけて動かし、ヒレは評価見直しにより動かす▷国産豚肉を使ってBBQ向けとして加工品の開発に取り組み、90gと大きなフランクフルトを作った。現在、好調に売れている▷系列の焼き肉店では、閉店時刻を早めたり、アルバイト賃金を上げたりして人手不足に対応していくほか、配膳ロボットを導入していく。ロボットは運ぶだけなので根本的な解決は期待できないが、ロボットが動いていることで配膳が進んでいるというお客の安心感が得られ、配膳へのクレームが減るなど別な効果がある(焼き肉店を展開している食肉卸)(連載終わり)



EU と英国、衛生植物検疫に関する新たな協定の締結で合意

欧州委員会と英国政府はこのほど、EU・英国間の農産品・食品貿易の促進のため、新たな衛生植物検疫措置の適用に関する協定 (SPS協定) を締結し、共通のSPS圏設置を目指すことに合意したと発表した。同日、2020年の英国のEU離脱 (ブレグジット) 後初となるEU・英国首脳会談が実施され、エネルギー、防衛・安全保障・開発や漁業など多分野で関係を強化することで合意しており、今回のSPS協定の締結もその一環である。

ブレグジット後、両者間の貿易ではそれぞれが設定したSPSの要件を満たすことが求められ、事務手続きによるコスト増や検査による物流の所要時間の増加などが課題となっていた。今回の合意では、新たなSPS協定により食品・衛生・植物検疫安全の基準などの関連するEUと英国の規制の整合性を保証し、英国は必要に応じてEUの関連規制をただちに適用する措置を講じるとされている。

英国政府によると、共通のSPS圏設置により、①輸出衛生証明書、植物衛生証明書、有機製品に関する検査証明書の廃止および販売基準証明要件の廃止②農産品・食品に対する定期的な国境検査の廃止 (現状、英国産のEU向け食肉や乳製品は書類検査が必須であり、抽出率最大30%の現品検査も実施されている) ③英国産の生ソーセージ、ハンバーガー用パテ、たねいもや一部の貝類のEU向け禁輸措置の解除④英国本島と北アイルランド間の移送の簡素化一などが図られ、輸出コストの削減になるとされている。

英国にとって畜産物の輸出に占めるEU向けの割合は特に大きく、牛肉86%、豚肉49%、チーズ78% (いずれも24年) であった。しかし、EU向けの輸出量は、ブレグジット前の19年比で減少している (表1)。英国農業・園芸開発委員会 (AHDB) によると、ブレグジット後のEU向け畜産物輸出コストは国境措置対応のため5~8%増加しており、これは英国畜産物の課題の一つとなっている。

EUの英国向け畜産物輸出の割合は英国の場合と比較して大きくはないものの (表2)、24年の輸出量をみると、英国向けは、牛肉およびチーズが第1位、バターが第2位、豚肉が第3位となるなど、EUにとっても英国は重要な輸出先となっている。

EU、英国の農業関係団体は、同合意についていずれも歓迎の意を示している。EU最大の農業生産者団体である欧州農業組織委員会・欧州農業協同組合委員会 (Copa-Cogeca) は、貿易業者団体や食品飲料メーカー団体と共同で首脳会談前に声明を発表し、SPS協定の交渉に取り組むことを求めている。今回のSPS協定の締結により、国境を越えたサプライチェーンの効率性、確実性が向上するとしている。また、欧州乳製品輸出入・販売業者連合 (Eucolait) は、SPS協定の締結により、双方の乳製品部門の競争力が強化され、また企業は煩雑な手続きから解放され、高品質の製品製造に専念できるとしている。

AHDBは、今後もEUは英国にとって重要な市場であり、今回の合意は、両者間の貿易の円滑化と英国畜産物の安定的発展に寄与すると評価している。(農畜産業振興機構)

表1 英国の食肉・乳製品輸出量 (2019年、2024年)

(単位:千トン)

品目	2019年			2024年		
	輸出量	うちEU向け		輸出量	うちEU向け	
		輸出量	シェア (%)		輸出量	シェア (%)
牛肉	135	112	82.4%	113	97	85.9%
豚肉	243	127	52.3%	122	60	49.0%
チーズ	206	168	81.8%	197	153	77.8%
バター	47	41	87.1%	29	25	84.9%

資料: Global Trade Atlas (GTA)

表2 EUの食肉・乳製品輸出量 (2019年、2024年)

(単位:千トン)

品目	2019年			2024年		
	輸出量	うち英国向け		輸出量	うち英国向け	
		輸出量	シェア (%)		輸出量	シェア (%)
牛肉	455	232	51.1%	481	218	45.3%
豚肉	3,027	416	13.7%	2,011	343	17.1%
チーズ	1,348	506	37.5%	1,388	431	31.0%
バター	247	69	27.9%	248	51	20.7%

資料: GTA

注: HSコードは、牛肉: 0201および0202、豚肉: 0203、チーズ: 0406、バター: 0405.10

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉

(令和7年6月1日～6月7日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量kg)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		
		和牛チルド「4等級」	首都圏	カタロース	3,310	3,840	4,762	3,850	7,564	近畿圏	3,541	3,834	4,212	3,884
カタ	3,402			3,485	3,675	3,525	11,373	3,510	3,767		4,158	3,753	7,919	
カタバラ	2,268			3,057	4,076	2,941	2,159	-	-		-	-	965	
マエセット	-			-	-	-	481	-	-		-	-	-	-
ヒレ	8,482			8,958	9,938	8,961	2,156	8,640	9,720		10,318	9,515	2,392	
ロイン	5,400			5,932	6,556	5,886	3,548	5,400	5,628		6,363	5,719	5,910	
ロインセット	5,835			6,329	6,372	6,261	1,561	-	-		-	-	-	
トモバラ	1,836			2,090	2,376	2,109	14,877	1,836	2,160		3,317	2,430	10,726	
ウチモモ	3,763			4,158	4,347	4,162	3,162	3,694	3,840		4,320	4,022	2,000	
シントアマ	3,970			4,320	4,364	4,218	3,766	3,681	4,320		4,320	4,149	2,200	
ランイチ	3,886			4,158	4,347	4,185	2,971	4,024	4,320		4,320	4,217	2,254	
ソトモモ	3,240			3,939	3,939	3,759	4,354	3,669	3,708		4,320	3,871	1,530	
スネ	1,836			1,926	2,175	1,945	4,065	1,998	2,157		2,182	2,115	4,253	
モモセット	3,926			3,996	4,061	4,000	13,501	3,564	3,694		3,834	3,707	11,013	
セット	3,570	3,971	4,458	3,966	30,889	3,294	3,564	3,759	3,540	14,280				
重量合計						106,427						73,627		
和牛チルド「4等級」	中京圏	カタロース	-	-	-	-	798	九州圏	3,510	3,672	3,953	3,690	1,364	
		カタ	3,240	3,456	3,780	3,496	1,456		3,240	3,402	3,888	3,466	1,167	
		カタバラ	2,700	2,938	2,970	2,900	1,276		-	-	-	-	278	
		ヒレ	-	-	-	-	587		-	-	-	-	259	
		ロイン	4,860	5,400	5,832	5,301	1,323		-	-	-	-	366	
		トモバラ	1,782	1,998	3,240	2,235	1,780		1,774	2,407	4,041	2,722	1,360	
		ウチモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	274	
		シントアマ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	537	
		ランイチ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	287	
		ソトモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	278	
		スネ	-	-	-	-	-		1,944	1,944	1,998	1,945	1,028	
		モモセット	3,672	4,050	4,114	3,925	1,194		-	-	-	-	-	
		セット	3,240	3,637	3,866	3,602	6,031		3,289	3,510	4,104	3,560	4,911	
		重量合計							14,445					
交雑牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,539	2,826	3,187	2,880	10,802	近畿圏	2,754	2,916	3,196	2,928	13,359	
		カタ	2,376	2,592	2,775	2,591	7,302		2,430	2,484	2,592	2,498	9,512	
		カタバラ	2,151	2,199	2,681	2,222	3,911		1,544	1,674	2,084	1,709	5,300	
		ヒレ	5,940	6,264	6,480	6,208	3,474		6,372	6,696	7,020	6,719	3,996	
		ロイン	3,953	4,482	4,752	4,434	2,948		4,398	4,581	4,669	4,581	5,031	
		トモバラ	1,512	2,650	3,419	2,526	10,204		1,566	1,620	2,145	1,726	12,012	
		ウチモモ	2,376	2,482	2,592	2,488	3,737		2,430	2,509	2,640	2,524	5,818	
		シントアマ	2,446	2,646	2,862	2,635	4,982		2,484	2,646	2,786	2,638	5,511	
		ランイチ	2,508	2,646	2,808	2,619	3,706		2,484	2,592	2,700	2,614	5,557	
		ソトモモ	2,137	2,160	2,327	2,213	2,420		2,268	2,442	2,487	2,404	6,098	
		スネ	1,566	1,647	1,674	1,630	3,172		1,566	1,620	1,770	1,643	6,134	
		モモセット	-	-	-	-	-		2,538	2,663	2,812	2,659	7,277	
		セット	2,753	3,115	3,339	3,067	26,637		2,646	3,164	3,424	3,134	35,139	
		重量合計							83,295					
乳牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,592	2,760	3,240	2,827	5,076	近畿圏	2,311	2,354	3,035	2,469	7,479	
		カタ	-	-	-	-	682		1,755	1,998	2,267	1,973	5,653	
		カタバラ	-	-	-	-	406		-	-	-	-	-	
		三角バラ	-	-	-	-	-		2,462	2,808	3,348	2,752	1,147	
		ブリスケット	-	-	-	-	-		1,296	1,328	1,582	1,350	3,195	
		ヒレ	5,170	5,229	5,616	5,319	1,769		4,860	5,465	6,048	5,443	3,893	
		ロイン	-	-	-	-	624		2,716	3,348	4,158	3,352	3,386	
		トモバラ	2,484	2,708	3,294	2,851	3,007		1,339	1,476	2,289	1,522	7,457	
		ウチモモ	1,998	2,273	2,646	2,235	2,323		1,998	1,998	2,160	2,019	7,671	
		シントアマ	1,944	2,198	2,268	2,162	1,399		1,776	2,030	2,136	2,030	2,048	
		ランイチ	2,074	2,100	2,268	2,145	1,920		1,836	1,944	2,052	1,945	2,796	
		ソトモモ	-	-	-	-	941		1,944	2,160	2,376	2,132	2,194	
		スネ	1,512	1,512	1,512	1,512	1,644		1,512	1,598	2,084	1,705	5,327	
		セット	2,530	2,808	2,808	2,744	11,896		1,781	1,967	2,041	1,909	34,242	
重量合計						31,687						86,488		

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 6月16日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 146頭	高値	4,857	2,805	-	-	-
		安値	2,010	1,961	-	-	-
		平均	2,958	2,406	1,999	-	-
		頭数	125	20	1	-	-
	雌 B -頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
	去 A 60頭	高値	2,910	2,109	-	-	-
		安値	2,035	1,944	-	-	-
		平均	2,295	2,023	-	1,836	-
		頭数	48	11	-	1	-
去 B 1頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	1,714	-	-	
	頭数	-	-	1	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 27頭	平均	1,824	1,573	1,500	1,430	-
		頭数	1	10	11	5	-
	雌 C 1頭	平均	-	-	1,467	-	-
		頭数	-	-	1	-	-
	去 B 22頭	平均	-	1,612	1,582	1,500	-
		頭数	-	8	11	3	-
	去 C 2頭	平均	-	-	-	1,312	-
		頭数	-	-	-	2	-

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	391 338	863 756	- 148.5	(競り) -	(相対) 8	49

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,111	1,598	1,496	1,421	-
	B	-	1,470	1,446	1,343	-
和 去	A	2,254	2,001	1,674	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,015	1,017
	C	-	-	-	1,014	958
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	1,655	-	1,472	1,434	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	1,626	1,499	1,454	-
	C	-	-	1,367	1,386	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	878	986	1,030	864	864
	安値	788	739	713	443	108
	平均	828	776	750	700	505
	頭数	(8)	(249)	(248)	(113)	(138)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	853	818	796	-
	安値	-	851	818	796	-
	平均	-	852	818	796	-
	頭数	(-)	(2)	(3)	(3)	(-)

[大阪食肉卸売市場] 6月16日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A (頭数)	2,357 (4)	2,169 (3)	1,885 (1)	- (-)	- (-)
B (頭数)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
和 去 A (頭数)	2,329 (5)	- (1)	- (-)	1,566 (1)	- (-)
B (頭数)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,622	1,561	-	-
	-	1,603	1,512	1,404	-
交雑去 B	-	1,755	1,605	1,540	-
	-	1,637	1,583	-	-
豚	-	792	765	691	495

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	6月16日	6月13日	(6月累計)
豚	59,700	56,200	649,100
成牛計	3,520	3,580	43,700
和牛雌	870	940	11,360
和牛去勢	1,370	650	11,950
乳牛雌	130	430	5,700
乳牛去勢	140	310	4,420
交雑雌	300	560	4,240
交雑去	680	690	5,990

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 6月16日

東京	1,516円	(前日 1,459円)
大阪	1,543円	(前日 1,561円)

[豚・全農建値] 6月16日

上	中	取引頭数	市況
781円	757円	978頭	急落

と畜 売買	牛 105頭	豚 46頭	牛概況	もちあい
	牛 60頭	豚 118頭	豚概況	上伸

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 6月16日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	724 (713)	- (-)	-	-	上伸
仙台 [中]	733 (753)	690 (716)	378	78	続落
栃木 [地]	- (811)	- (784)	1,621	4	-
茨城 [地]	777 (806)	762 (766)	1,153	648	続落
群馬 [地]	762 (774)	653 (687)	1,950	216	続落
さいたま [中]	762 (785)	752 (782)	263	263	続落
東京 [中]	776 (799)	750 (775)	863	756	急落
横浜 [中]	805 (811)	771 (774)	600	635	続落
山梨 [地]	- (-)	- (-)	109	37	休市
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	798 (799)	750 (756)	802	237	もちあい
京都 [中]	745 (732)	726 (731)	99	80	もちあい
大阪 [中]	792 (778)	765 (765)	46	102	上伸
神戸 [中]	- (789)	- (780)	142	-	上場なし
岡山 [地]	776 (710)	739 (705)	231	298	暴騰
広島 [中]	771 (764)	739 (727)	210	49	上伸
福岡 [中]	748 (750)	712 (716)	408	109	弱もちあい

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。京都の前日は14日。

[日本食肉流通センター] 6月9日～6月15日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

[食鳥正肉日経相場] 6月13日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇首都圏 総重量 1,396,482 kg

◇東京 (8社)

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,200	1,308	1,363	1,309	58,072
うで	838	918	950	903	112,361
ロース	1,145	1,237	1,306	1,232	119,629
ばら	1,242	1,326	1,393	1,328	134,575
もも	805	842	918	850	182,001
ヒレ	1,213	1,213	1,323	1,254	10,141
セット	1,074	1,103	1,162	1,107	779,703

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	760	835	1,001	179
ムネ	479	527	664	194

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	740	798	1,030	4
ムネ	473	520	608	3

◇近畿圏 総重量 657,133 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,242	1,366	1,458	1,365	55,450
うで	810	862	896	856	104,835
ロース	1,164	1,285	1,320	1,277	81,411
ばら	1,264	1,329	1,376	1,336	115,645
もも	842	875	950	882	154,660
ヒレ	1,190	1,323	1,406	1,324	11,658
セット	1,042	1,150	1,212	1,156	133,474

[農水省統計情報部食鳥市況] 6月13日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,116	728	550	600	650
安値	719	500	290	360	350
平均	852	537	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

◆業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

◆畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

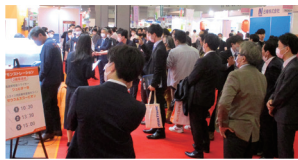
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

◆国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

◆あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男 著
鏡 晃 監

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

◆知識を豊かにする

食肉用語事典〈新改訂版〉

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

◆ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

◆大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

◆東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

◆九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。